

文化財を守っていく責任

本号で特集している通り、本県には3つの世界遺産があります。これは岩手県・鹿児島県と並ぶ全国最多で、本県が最も自慢できることの一つです。一方で、その世界遺産をはじめとする文化財を守っていく責任が本県にはあります。本県が文化財保護にかけている支出額は年約11億円で、京都府の約15億円などと共に全国平均(約4億3千万円)の2倍以上となっています(令和3年度)。しかし、これは国の宝を守るという誇りのある仕事であると共に、奈良県の観光振興にも繋がりますから、とてもやり甲斐があります。

現在、吉野町の国宝金峯山寺二王門を令和2年から9年間かけて修理しています。これは一旦全部解体した上で、傷んだ部材を修理したり、交換したりして、再度組み立て直すという途方もなく長い作業です。総事業費は約20億円で、寺、国、県、町で分担して負担しています。奈良市の国宝興福寺五重塔も令和4年から9年間かけて屋根の葺き替えを行います。こちらの総事業費は約57億円です。県は、どちらの事業にも各10名以上の職員を専属で配置しています。

県の負担は少なくないですが、未来への責任をしっかりと果たして参ります。なお、興福寺五重塔は塔を覆う工事前の屋根を建設中で、来年10月から約7年間は完全に覆われてしまいます。是非今のうちに室町時代に再建された雄大な塔の姿をご覧ください。



奈良県知事
山下真

毎月11日は人権を確かめあう日

人権コーナー



ひかりちゃん てんいち先生

人権週間が始まります

～一人で悩んでいませんか～

12月4日から10日までの1週間は「人権週間」です。昭和23(1948)年12月10日、国連総会において「世界人権宣言」が採択され、その日を「人権デー」と決めました。

世界人権宣言は、基本的な人権尊重の原則を定めたものであり、初めて人権の保障を国際的にうたった画期的なものです。わが国では、人権デーを最終日とする1週間を「人権週間」と定め、県内でもさまざまな啓発活動を行い、人権尊重の社会づくりに取り組んでいます。

しかしながら、部落差別をはじめ、いじめや児童虐待、ネット上の人権侵害、感染症や障害を理由とする偏見や差別などの人権問題が依然として存在しています。

皆さんの周りで、おかしいと感じながらもじっと我慢したり、一人で悩んだりしている人はいませんか。県人権施策

課の人権相談窓口では、相談員がお話を伺って、少しでもほっとできるようお手伝いをしています。必要に応じて、他の相談機関を紹介することもできます。一人一人が大切な存在であり、自分は一人ではなく相談できる場所があるということを思い出していただき、安心してご利用ください。

☎0742-27-8726(開庁日の8時30分～17時15分)

今月の標語&ポスター

虐げる 心を解放のは 自分から

森田 国仁子さん



奈良県立高等養護学校3年
増村 花人さん

※学校名・学年は作品作成時のものです。

アンケート & プレゼント

11月号のプレゼント

自家栽培の
ブルーベリーを使った
手作りお菓子のギフトセット



無農薬栽培で愛情を込めて育てたブルーベリーの果実を使った商品です。素材を生かした味をお楽しみ下さい♪

■商品のお問い合わせ先
社会福祉法人ちいろば会 ちいろば園
☎0745-72-1923

デジタルに親しむきっかけに電子書籍版「県民だより奈良」を読んでみませんか。電子書籍版を読んだ感想をe古都ならで回答された方の中から抽選で10名にプレゼントが当たります!

回答・応募はこちらから



締め切りは
11月30日(木)

※11月1日以降応募できます。

※ご提供いただく個人情報は、プレゼントの発送にのみ使用させていただきます。
※当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。
※商品は社会福祉法人ちいろば会 ちいろば園から直接発送します。
※「県民だより奈良」への感想やご意見は引き続きハガキでも受け付けています。